

宮城県が発行する「サステナビリティボンド」への投資について

一般社団法人宮城県林業公社(理事長:高橋壯輔、以下「当社」という。)は、このたび、宮城県が発行するサステナビリティボンド(宮城県公募公債第1回1号(5年・サステナビリティボンド))、以下「本債券」という。)への投資を決定しましたので、お知らせします。

サステナビリティボンドは、調達資金が環境問題の解決に資するグリーンプロジェクト(海洋保護や持続可能な漁業等に資するブループロジェクトを含む。)及び社会課題の解決に資するソーシャルプロジェクトの双方に充当される債券です。

本債券の発行にあたって、宮城県は「宮城県サステナビリティファイナンス・フレームワーク」を策定し、第三者機関である株式会社格付投資情報センター(R&I)から、国際資本市場協会(ICMA)が公表するグリーンボンド原則 2021、ソーシャルボンド原則 2023、サステナビリティボンド・ガイドライン 2021、環境省が公表するグリーンボンドガイドライン 2022年版、金融庁が公表するソーシャルボンドガイドライン 2021年版及び国際金融公社(IFC)が公表するブルーファイナンスのガイドラインへの適合性に関するセカンドオピニオンを取得しています。

本債券は、同県の地球温暖化等をはじめとする環境問題の解決に資する県有施設・設備の更新・改修や河川改修等をはじめとした「グリーン適格プロジェクト」に加え、閉鎖循環式陸上養殖研究施設の建設や藻場造成といった海洋保護や持続可能な漁業等に資する「ブルー適格プロジェクト」、様々な社会課題の解決に資する県有施設・設備等の更新・改修をはじめとした幅広い「ソーシャル適格プロジェクト」に充当される予定です。

引き続き、当社は、持続可能な社会の実現に貢献できるよう、本債券をはじめとした ESG 領域における投融資を一層推進してまいります。

<本債券の概要>

銘柄	宮城県公募公債第1回1号(5年・サステナビリティボンド)
年限	5年
発行額	100億円
条件決定日	2023年10月19日

以上